

はつうま通信

2025年 9月19日 発行

はじめに

2学期が始まり約1ヵ月、日中は過ごしやすく、朝晩は肌寒さを感じる季節になりました。子どもたちから「トンボが止まったよ!」、「今日の気温は17度だったよ。」といった声が聞こえてきます。

最近では五右衛門風呂を沸かしたり、押し花を作ってみたり、民謡を覚えたりと、やりたいことに挑戦する活動的な日々です。中には自分たちで計画を立て、キャンプに挑戦した子もいました。前日の雨で薪が湿った状態での火おこし、苦戦しながらの食事作りです。何時間もかけて疲れた表情をしていたのもつかの間、リベンジを決意し次の計画を立て始めていました。翌週には留学センター全員でキャンプに行きました。基礎を理解し、手際の良さが求められるソロキャンプを大半の留学生が選択。スキルアップを目指す姿を見て留学生としての力強さを感じました。

2学期は留学センターのイベントだけではなく、学校、地域で太鼓や民謡を発表する機会もいただいています。日頃お世話になっている皆さまに感謝を伝えることが出来るよう、練習に励む毎日です。今学期もどうぞよろしくお願い致します。

高倉歩生



登山後の車内も
元気いっぱい!

子ども民謡保存会の
一員として発表しました



休日に
おやつ作り



【活動日程】

- 8/24 帰園
- 8/30 五色ヶ原登山(～31日)
- 9/3 ホームステイ開始
- 9/6 週末コース②(～7日)
- 9/10 センター活動開始
- 9/13 自由活動日
(前)畑作業
SCOT 観劇
- 9/14 自由活動日

〒939-2516 富山県南砺市利賀村坂上 18
南砺利賀みらい留学センター

TEL : 0763-77-4103 / FAX : 0763-77-4037

MAIL : nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp

WEB : <http://www.nanto-toga.com/>

8/30 五色ヶ原登山

今年度、夏の小屋泊登山は、北アルプスの五色ヶ原を目指す活動となりました。ケーブルカーとバスを乗り継ぎ、立山室堂から登山開始！雄大な立山連峰の景色を眺めながら、浄土山、龍王岳、鬼岳、獅子岳などの山々を縦走します。アップダウンの繰り返しや慣れない岩場の登り下りに苦戦しながらも、無事に五色ヶ原山荘に到着。温かい夕食をいただきました。

翌朝は、日の出を眺めながら朝食をいただき、早めに山小屋を出発。この日は快晴で、昨日雲に隠れて見えなかった他の山々や街の景色を楽しみながら下山することができました。

2500m級の稜線上で、非日常を体験した2日間となりました。



みらい留学日記



「登山」 私は、五色ヶ原をのぼりました。とてもつかれたけど楽しかったです。じょうどさんは岩がごつごつしていて大変でした。ザラとうげはのぼりが大変でした。くまにもあいました。こわかったです。らいちょうもみました。意外と思ったより小さくてビックリしました。らいちょうを見てラッキーでした。五色ヶ原さんそうについたとき、とってもうれしくて口からしんぞうがとびでるほどうれしかったです。そのあとごはんとかを食べてねました。朝おきて日の出をみました。とてもきれいで私はあまり見ないのでうれしかったです。そのあと下山してセンターにつきました。つかれたけど楽しかったです。……(9/2 めい)

「五色ヶ原登山」 僕は8月30日、31日に五色ヶ原登山に行きました。初めはいいかんじでしたが、途中から足がおかしくなりました。けれどもラストまで歩き切ることができてとてもよかったです。立山黒部アルペンルートのケーブルカーに乗ることができてよかったです。また登りたいです。(9/1 しゅんや)



「もくひょう」 今学期の目標は、いつでも、どこでも、だれとでも、楽しく、仲良くすること、いつでも「自分はダメだ」と言って考えすぎないことです。なぜかと言うと、自分は、いつでも、どこでも、だれとでも仲良くできていなかったのと、自分は自分をせめすぎてしまうからです。あと、もっと2学期は、心をひろく持ちたいです。(9/1 いおり)

9/13 SCOT 観劇

SCOT の作品「世界の果てからこんにちは I」を観に行きました。観客を含めた歌謡曲の合唱、そして野外劇場を活用した演者の移動や演出としての花火が印象的な作品でした。観劇後は SCOT の団員が栽培したナスやカボチャを頂いたり、印象的なセリフを真似してみたり、歌ってみたいと感想を話すだけでなくそれぞれの方法で振り返っていました。



週末コース② 秋の森遊び・デイキャンプ



二回週末コースには、14 名の参加者が集まり、利賀の晩夏を楽しむ活動を行いました。

1 日目、まずはロンレー子ども村へハイキングして、思い切り遊びます！今回は市内から初参加の人たちが多く来てくれましたが、「南砺市にこんな場所があったんだ！」と、利賀の自然に感動していました。センターに戻った後は、留学生が作ったおもちゃで遊んだり、ナイトハイクに行ったりと、思い思いに過ごしました。

2 日目はデイキャンプ！3 班に分かれて火を起こし、野外調理を行います。経験者も初めての人も、みんなで協力して、無事秋の味覚がたっぷり入った炊き込みご飯と芋煮が完成。初秋を美味しく味わうことができました。



みらい留学農事歴



【田んぼ】夏休みの短期体験キャンプの頃、例年であればセンターの田んぼにも稲の花が咲くのですが、今年は8月に入ってからの開花となりました。雑草はというと、オモダカが目立って生えており、一度指導員が草取りを行いました。その後は順調に穂が実り始め、9月中旬辺りからは頭を垂れるようになってきました。昨年よりは少し分結が少ないかなという印象ですが、いよいよ収穫の時を迎えることが出来そうです。

畑 9/13 前期生：草取り、種まき(赤かぶ)、片付け(夏野菜)

【畑】夏休み明けは、日々係の人が収穫した野菜を食卓にあげていただいています。トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、オクラ、インゲン、カボチャ、夏休みに取っておいてもらったトウモロコシと、自分たちで植えた野菜をたくさん味わうことができました。9 月に入り、少し涼しくなってきた中、トウモロコシやキュウリなどの畑の片づけと、残った野菜の周りの草取り、赤かぶの種まきを行いました。「あ、芋も抜いちゃった」「ネットたたもう」と声を掛け合いながら、入園当初に比べ少し手際も良くなった留学生たちです。



みらい留学 定時定点

※留学生は利賀の四季を体感する定時定点観測のため、毎朝外に出て「朝のつどい」を行っています。朝のつどいでは、自然にまつわる声かけを指導員からひとつ。記録の一部を紹介します。

8/26(火) 晴れ 気温：23℃ 【ムクゲ】

- ・センター前の消火栓の横に生えている。生け花にするとすぐに枯れてしまうことから、一期一会の儚さを表す花として親しまれていた。つぼみは乾燥させるとお腹の調子を整える薬になる。秋の季語。

8/27(水) 晴れ 気温：22℃ 【キリギリス】

- ・センター周辺でもそこらじゅうで「ギィィィ」と鳴いている虫。雑食であごが強く噛まれたら痛い。
- ・玉ねぎに寄ってくるらしく、釣りのようにして遊べるらしい。

保護者だより

山村留学に行かせた経緯は、自分で考え行動し、思うようにならない経験を早いうちにたくさんしてほしいと思っていたからです。まずは息子に山村留学があるという選択肢を伝え、現地体験に連れて行きました。息子は知らない土地で親元から離れての生活が想像できず、行くまでは不安に感じている様子もありましたが、現地体験には雪深い時期に行ったので、その環境に一瞬で虜になっていることが分かりました。最終的には本人が山村留学をやってみたいと言ったので、親としても決定しました。

留學生活が始まり、長期の夏休みで家に戻ってきた時に感想を聞くと、大変なこともあるけどトータル楽しいと言ってました！親としては、困難を感じてもらってこそ行かせた意味があり、その中でも興味を持って過ごせてることが大変嬉しく思いました。

息子にとって山村留学の経験は、すぐに大きな変化が見られなくても、生涯において大きな糧になると確信しています。貴重な経験ができる環境を与えていただいている皆さまにも、心より感謝しております。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝

指導員よもやま話

＝＝＝＝＝＝＝＝＝



夏場の草刈り最盛期、入村5年目にして、待望のマイ刈払い機を購入しました。自分の体型に合わせてハンドルを調整できたり、チップソー周辺のパーツを買い揃えたりと、大変な草刈り作業にも楽しさが生まれました。大切に使いしていきたいと思います。(邑上)



夏休みのうまいもん館で、修園生の2人にばったり。1人はバイトをしに、1人は家族と一緒に日帰りで利賀を訪れたようです。2～3年も一緒に過ごしていたのに畏まって喋るので、お年頃だなあと笑ってしまいました。(松浦)



旅先の骨董品店にて、趣深い革登山靴に邂逅。一目惚れして交渉し、破格の値段で手に入れた。店主の古老曰く「わしの世代より前のもの」らしい。そのパティナを保ちながら、自分好みにお手入れ。時代を越えたロマンを履いて、今日も山へ出発だ。(山口)



SCOT 観劇の際、鈴木忠志演出作品のパンフレットを受け取り読んだ。なんと長崎県の五島列島が話題に出ている。私にとってこの地は高校3年間を過ごした第2の故郷だ。ふいに出来た遠い地の名前に、懐かしさがこみ上げる。(高倉)